

施策番号	0701		
施策名	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）		
概要	市民が、それぞれの年齢や個性、環境に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しめるよう、施設の効果的・効率的な整備、機会や情報の提供、活動を支える人材の育成等を行う。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	本市スポーツ施設の利用件数(件)	a	b	368,886	393,135	397,688	98.9%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	c	c	43	200	164	85	36	528
				8.1%	37.9%	31.1%	16.1%	6.8%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					28年度	C
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) 市民みずからスポーツを「楽しむ」ことが施策の目的であるため、市民の実感を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・前年度に引き続きc評価であり、気軽にスポーツ等を気軽に楽しめるような機会・場所の提供・周知が未だ十分でないと考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	市民スポーツフェスティバル	17,800	18,205	良い	文化市民局
2	地域スポーツ振興事業	21,223	21,985	良い	文化市民局
3	夜間校庭開放事業	21,267	25,769	悪い	文化市民局
4	京都市スポーツ表彰	5,729	5,735	かなり良い	文化市民局
5	黒田トレーニングホール	422	422	普通	文化市民局
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・利用したいと思える施設を提供するため、老朽化した既存設備等の計画的改修に向けた取組を推進していくとともに、魅力ある施設にするための大規模改修も可能な限り実施していく。

・スポーツ等を気軽に楽しむ機会が未だ広く認知されていないことから、体育振興会、学校、大学、競技団体、指定管理者等のもとより、「健康長寿のまち・京都市民会議」とも連携し、市民が気軽に体を動かす機会の増加を図る。

・平成28年3月に運用を開始した「スポーツウェブ京都」のホームページにおいて、市民の誰もがスポーツに関する情報を容易に入手できるよう、スポーツに関する情報を集約し、総合的にわかりやすく提供する。

施策名	0701	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）				
指標名	本市スポーツ施設の利用件数(件)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6－0 1 6 8		
1 指標の説明						
本市スポーツ施設の利用件数						
2 指標の意味						
市民が、それぞれの年齢や個性、環境に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しめる機会の提供や施設整備により、スポーツやレクリエーションを楽しむことができていることを示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 27年度	最新数値 28年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	368,886	393,135	24,249増	397,688	22年度現況値（329,719件）を基に32年度目標値に対する増加件数を計画期間10年間で按分算出	98.9%
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		443,000	32年度	88.7%	22年度現況値を基に京都市市民スポーツ振興計画に掲げる32年度「するスポーツ」の目標を達成するためのスポーツ施設利用件数を算出し目標とする。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標達成以上をaとし、以下を20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
27	28	29				
a	b	b				